

三尾  
重定  
編輯

新編  
小學讀本  
第二  
下

大日本教育館  
第 〇 室

九册	一〇九号	三架	九函
----	------	----	----

福羽美靜 閱  
三尾重定 編

# 新編 小學讀本 第二

東京

教育書院藏

明治十九年三月二十三日內務省贈付

（教育書院）



福羽美靜 閱  
三尾重定 編

## 第一

學校ハ人に智識をひらか  
めて。幸福をあたへんとする

新編小學讀本

第二下

教育書院

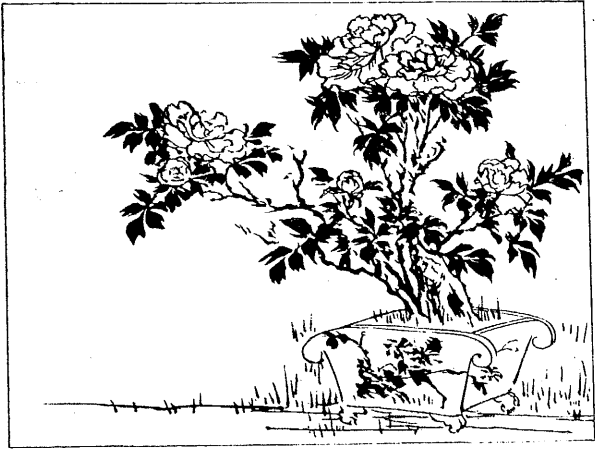
所なり。智識をむらくとい。善  
惡邪正をつまびらかふして。  
人の人たる道をおさめ。一般  
天下の事を理會し。ときに臨  
んで。ほごふたやなく。速に決  
斷して。其よるべきを得るを

以ふ

幼稚ノ時ヨリ。ヨク學ビテ。ソ  
ノ身ニ智徳ヲ。ソナフル時ハ。  
他日カナラズ。トミ榮エテ。ソ  
ノ樂ヲ。キハムベシ  
ソノ智ヲ研キ。徳ヲ脩ムルニ

ハ。ユダンナク勉強シテ。功ヲ  
 積ムニアラザレバ。決シテ成  
 就スルコトナシ  
 たとへむ。鉢に牡丹をうゑて。  
 うつくりき花の。咲んことを  
 思ふまい。秋冬のふるよ。ふ

まに培ひ。養ひざるを得ず。園  
 の枿の。多くよま  
 實をむまばんふ  
 とを希ふまい。春  
 夏の頃よ。是に  
 肥を。ほどふさ



るべからば

何ホド生ジヤスキ。草木ニテ  
モ。又キトリ來リテ。其マ、地  
上ニ。棄オキテハ。ソノ花ヲヒ  
ラキ。ソノ實ヲムスブ。モノニ  
アラズ

以かに天性。英敏なる。小兒も  
ても師のを一へに。よらざれ  
む。智徳を脩め。藝能も達する  
もやな一

第二

學校にてい。けいふの時間と。

遊歩の時間あり。稽古の時よ  
ハ。一心に勉強して。まよへ  
ゆだんす。慮からず  
家にかへ。里ても。あそび。おと  
にのみ。心を入て。むなしく。時  
を。バ。過ま。慮あら。む。光陰ハ。矢

の。お。せ。し。一たび。ま。ぐ。ま。ば。か  
へ。ら。ざ。る。ま。の。な。り  
明日アリトテ。益ナキコトニ。  
其日ヲツヒヤシ。來年アリト  
テ。其業ヲ怠リ。其歳ヲバ。オク  
ルベカラズ

陶淵明。トイヒシ人ノ詩ニ  
 盛年カサネテ來ラズ。一日再  
 晨ナリ難シ時ニ臨デマサニ  
 勉メ励ムベシ。歲月ハ人ヲマ  
 タズトイヘリトゾ

第三

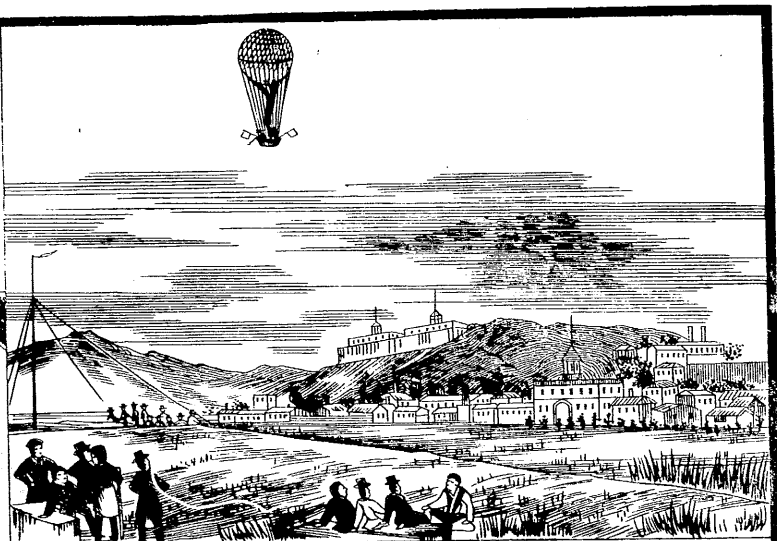
春すぎて。夏きたり。花ハちり  
 て。青葉とふまき。蟬ハ林頭に  
 なき。魚ハ水中にあそぶ  
 木々ハのきはふ。茂りあひ。亦  
 以詠ク。の。實をむまべり  
 オヨソ。クダモノハ。小兒ノコ

ノム物ナレドモ。多クハ食フ  
 ベカラズワキテ。未熟セザル  
 物ハ。口ニ入ルコト勿レ  
 虎列刺病ハ。夏の日に多シ。其  
 おこる亦々。十に八九ハ食物  
 な里。一たび此病にかゝる時

ハ。たちまち傳染蔓延して。多  
 くの人ノ命をも。うゝなふも  
 のなきば。深くおそれつゝ。  
 む慮  
 今日ハ。アツキ日ナリ。空ニハ  
 一點ノ雲モナク。風モマ夕吹



キタエタリ  
 木々に扇三本あり。何の圖を  
 急がきたるや  
 一ッハ。井手ノ玉川ノ景ニシテ。  
 俊成三位ノ馬ニテワタラル  
 ルトコロ。一ッハ。モロコシノ山



水ヲウツシテ。坡翁ガ。赤壁ニ。  
舟ヲ泛ベシサマ。今一ツハ。風船  
ノ圖ナリ。フランスノ某。ハジ  
メテコノ風船ヲツクリテ。放  
チ試ミタル所ニシテ。イツレ  
モ涼シキ。景色ナリ

第四

多くの人馬にのりて。はせゆ  
きたり。彼ハ。以かなる人ふ  
て。又いゝある所へ。ゆくまの  
な里や  
是ハ。兵士ナリ。故ニ隊ヲナシ

テ。操練場へ。至ルナリ  
わきさきよ兵隊を見たり。志  
かるに。其士。みまかち立に  
て。馬よの里と人あらず。今  
志の兵士。志やぐく馬にのれ  
るハ。何ゆゑぞや

オヨソ兵二ハ。騎兵。歩兵。炮兵  
アリテ。又別ニ。工兵。輜重兵ト  
イフ者アリ。汝サキノ日。見夕  
ル者ハ。歩兵ナリ  
汝モ亦馬ニ乗ント欲スルカ  
○我馬よのる志とを好むと

以へど毛。たゞに馬なきのみ  
あらず。乗べきまきも。知らざる  
まきに。くるしむなま  
汝。ウレフルコト勿レ。官ニハ。  
徴兵令アリ。汝丁年ニ至ラバ。  
メシニ應ジテ。入隊スベシ

然ドモ。文武ハ。車ノ兩輪アル  
ガ如ク。一モカクコト。能ザル  
故ニ。日々學校ニユキ。勉メ励  
ミテ。文學ヲ脩メ。時ノイタル  
ヲ。待ベキナリ

第五

學校よてハ。一けんはトま里  
たりや  
イハク。然リ  
汝ハ今。何年級な里や  
第二年級ナリ  
今日。試験をうけこる科目ハ。

何々なるぞ  
讀方ト。作文トナリ  
その書物ハ。何な里一や  
新編小學讀本ナリ  
ツネニ暗ンジ居タレドモ。不  
意ノサシヅニ。心マドヒテ。一

時ハタメラヒタリシカドモ。須臾ニシテ。意オサマリイササカヨドム所ナク。スミヤカニヨミ果タリ。マタ作文ハ。記事ニシテ。題ハ。蜈蚣ト鰻ナリシガ。コレ亦即

時ニツクリ來レリ。汝以ふ所の如くならば。必まさに。登級まべー。よの常の登級ハ。その一等をすゝむべー。志かれど。試験のかずくまぐるゝ。ままハ。二

級を進む。例もあれを。一心に  
志きを受くべし

第六

次ニ出セル圖ハ農家ノ人々。  
イネヲ蒔リオサムル所ヲウ  
ツスモノナリ



新編 學語本

第二十一

十四

教育書院

米ハ。五穀ノ中ニアリテ。第一ノモノナル故ニ。コレヲ作りテ。トリ入ルコトモ。亦タヤスキ業ニアラズ。其苗ヲソダツルニハ。マツ冬ノ日。糶ヲ俵ニイレ。池水ナド

ニ。沈メオキテ。後。ヒキ揚テ。日ニサラシ。春ニ至<sup>リ</sup>テ。ヤ、芽ヲ出シタルトキ。苗床ニ。コレヲ蒔クナリ。是ヲ苗代ト云。ソノ芽。三四寸モイデタル時。カネテ耕シオキタル田ニ。移



シウ工テ。肥ヲ入レ。草ヲ耘ル  
コト。五回ニ至ル。是ヲ五番グ  
サトイフ

春もまき。夏もくれ。秋まゝ末  
まなまぬる。米ぬ。稲のほまば  
みて。垂れふまをみて。米れを

蒞て。もみとなし。扱ぬるを去  
て。米とふし。るを。又つきま  
らげて。始て飯と。なまこせを  
得るなま。その時日を費し。人  
力を竭まこと。以かばるまぞ  
や

K110.8  
67-2.

編小學讀本 第二十一  
發售書院

されば汝ら。食事にのぞまば。  
粒々辛苦に。以づること。をた  
もひて。あへて。麓略。なす。と  
となられ

新編 小學讀本 第二下 畢

板權免許 明治十九年  
一月廿五日  
刻成出版 同 年  
三 月

定價金六錢五厘

編輯者 愛知縣士族 三尾重定

出版者 東京府士族 岩田富美

出版并 東京府士族 吉澤富太郎  
發賣人 本所區松井町三丁目十番地

